

総評

国語・数学がやや難しめ、社会・理科がやや易しめで、全体としては標準的な難易度の出題となりました。

2年生になると、学習内容は一段難しくなり、差がつきやすくなります。内申点では、1・2年生の成績が全体の7分の4を占めるので、今のうちに入試を見すえた具体的な目標を立て、目標に向かって頑張りましょう。

道コンなどの試験も、範囲が広がるにつれ、入試に近い出題が増え、教科書内容をひとつお理解しただけでは高得点を得るのが難しくなってくるでしょう。

基礎・基本の定着はもちろんのこと、今後はより入試に近い実践的な問題に挑戦し、慣れていく必要があります。今回の試験でよい成績だった人も、油断することなく、一層の実力アップにチャレンジしてください。

国語

やや難しい出題でした。

㊦は、「推測」と「祝福」の書きの得点率が低くなりました。「祝福」は部首を「礻」としないように注意しましょう。㊦は実生活で想定される場面からの出題で、案内の内容と会話の内容を読み取り、表現する力が問われます。問二・問四では、案内の内容や会話の流れを正確に把握できていないと思われる答案(問二「教材費はかかりますか」、問四「受講したいと思っている講座」を「たのしい絵画」と答えている。など)が多く見られました。㊦の説明的文章と㊦の古文は特に難しかったようです。現代かなづかいと読みの異なる歴史的かなづかいのパターンは限られています。しっかりおさえておきましょう。全体を通して、誤字脱字や空欄の前後との接続の不備がないように注意しましょう。

数学

中難易度の問いが多く、差がつきやすい出題となりました。

①はどれも解けるようにしたい基本問題です。特に、比例における x と y の値の関係はよく確認しておきましょう。②問1の不等式では、不等号の向きを逆にしたものや、「未満」と「以下」を混同したものが目立ちました。問2、反比例の式は書けているのに、(3)ができていない人はあと1歩です。 x の値と y の値の対応についても一度考えてみましょう。③の問1、方程式の利用は、Mセットの個数や代金の表し方の誤りが目立ちました。表などを作って整理して、もう一度解いてみましょう。④問2(1)は、Bの座標の求め方がポイントでした。もう一度挑戦してみましょう。⑤の問1、「 60° 」や「 30° 」の角は、正三角形の角を利用しましょう。

社会

やや易しい出題でした。

地理分野では、①問6の得点率が低くなりました。間違えた人は解説をよく読み、問題の解きなおしをしましょう。また、③問7の雨温図の判別問題も得点率が低くなりました。世界や日本の都市の気候、雨温図の特徴などは、教科書や資料集などを利用して、確認しておきましょう。

歴史分野は、⑥問6、⑦問5など、年代関連の問題の得点率が低くなりました。歴史分野では、人名やできごとなどの語句を覚えるだけでなく、できごとの前後関係やおおまかな流れをつかむことも大切です。入試の歴史分野でも、年代関連の問題は出題されますので、教科書の年表などを活用して、確認しておきましょう。

理科

やや易しい出題でした。

①は、全体によくできていましたが、問2(2)は細かい知識が問われたこともあり、得点率が低くなりました。②は、問1(3)はよくできていましたが、他の問題はさほど得点率が高くなりませんでした。基本的な内容の出題もありましたので、もう一度確認しましょう。③は、特に難しい出題がなかったこともあり、全体によくできていました。④の問3は、図1のグラフの読み取りがしつかりとできるかがポイントでした。水溶液の問題では大切な考え方ですので、まちがえた人はしっかりと復習しましょう。また、問5は、思考力を必要とするためか難しかったようです。⑤は、問2と問3を間違えた人が多かったようです。凸レンズによる像のでき方についても一度確認してください。

英語

全体として標準的な出題でした。各設問の難易度のバランスがとれた出題になったかと思います。中1で学習した内容なので、間違えた問題がある人は早めに復習しておきましょう。また、今後は入試の出題傾向に合った問題を解く機会を増やし、教科書で習ったことを問題の中で活用していけるように意識していきましょう。

①問1のNo.1は、ほぼすべての人が解けた問題でした。間違えた人がいれば、必ず確認しておきましょう。一方で、①問3の(2)は得点率が最も低くなりました。「日本の」を含めて解答することが必要でした。

③問3は選択問題で比較的易しい出題でしたが、できなかった人が多いようです。空欄の直後のEnglishがポイントでした。〈in + 言語〉はよく出てくる表現なので、しっかり覚えておきましょう。